

花の輪



2017、12月 女性教職員学習交流集会版

【女性部 新春のつどい 2017】
2018年1月20日(土) 10:00~13:00
大津市朝日が丘1-11-3 教文会館3F
申込：組合本部まで
TEL 077-522-4965
FAX 077-522-4978

10月7・8日、米原市・彦根市で、第27回女性教職員学習交流集会が開催され、2日間、のべ約750人が参加し、語り合い、学び合い、笑い感動を共にしました。滋賀からは160人の参加があり、男性教職員やOB,OGの先生方も参加して下さり、当日の運営、オープニングでの合唱など、いろいろとご協力いただき、滋賀のみなさんで作り上げた大会となりました。



八幡中学の生徒さんの迫力ある和太鼓演奏に胸が躍られました。



「父様の名は〜」富田人形浄瑠璃の、感情のこもった語りと、人形の細やかな動きに引き込まれました。



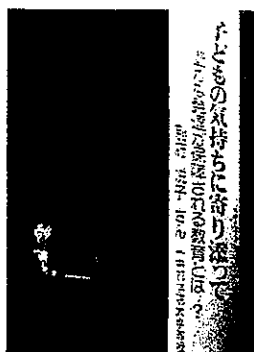
滋賀の女性の先生で『琵琶湖周航の歌』を2部合唱して、全国の先生方にお出迎えしました。素晴らしい歌声でした！！



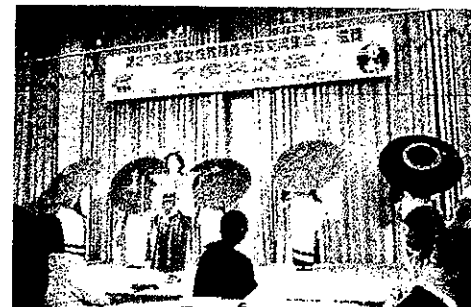
出店コーナーでは、安曇川高校の生徒さんが地元特産のアドベリーを使って「アドベリークッキー」をプロデュース・販売して下さいました。完売でした。



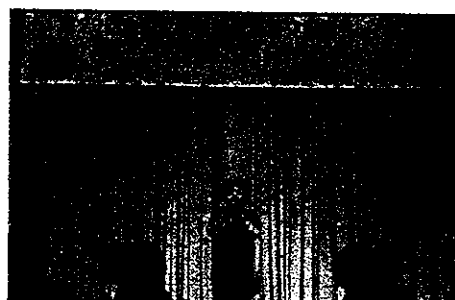
石田みつにゃんが、ロビーでお出迎え。大人気！〇〇先生のご主人様、ありがとうございました。



記念講演は「子どもの気持ちに寄り添って一豊かな発達が保障される教育とは？」と題して中部学院大学教授の別府悦子さんよりお話していただきました。発達には節目があり、「平らな道のり」の時期と「大きく飛躍する」時期がある。それぞれの発達には固有の心のありようがあり、大人の都合で発達を見ないこと。発達の途中には不協和音やアンバランスさが必ずあり、子ども達の困った行動の背景には、不安やもどかしさが必ずある。大人は「壁(節目)の前のウロウロにつき合う」こと等、発達保障の立場に立って子ども達を見守ることの大切さについて学ぶことができました。また、対処療法や早急な成果主義が発達を妨げ、二次障害を招くことにつながりかねないこと。大人たちの過剰な期待や無理解による心の傷つきへの理解こそ求められていること。そして、自分を認めてくれる、受け止めてくれる他者や仲間が存在＝「重要な他者」が大切であること等、子どもをとりまく学校や社会のあり方を変えていくためのいくつかのヒントが示され、有意義な講演となりました。



夕食交流会のオープニングで披露された白波五人衆では、小学校・中学校・高校、養護学校の先生方が、各職場の矛盾や問題、そうした中での思いや願い等を込めて口上を述べると、会場から声援や盛大な拍手が送られました。



クラブハリエのパウムクーヘンをおもてなしして下さいました



ブロック別のパフォーマンスでは、中国四国九州ブロックの「私たちは『〇〇な人』と「時の流れに身を任せ」の替え歌、北陸・東海・中部ブロックの「恋のフィッシュクッキー」の替え歌や、北海道・東北ブロックの「安倍首相への手紙」、関東・甲越ブロックの三太郎のかけ合いと、「オクラホマミキサー」の替え歌、総勢150人近くの近畿ブロックの「恋ダンス」まで、たっぷり楽しむことができました。最後は、来年の開催地の九州のみなさんより、集会開催に向けた決意が述べられました。



2日目は、「『戦争する国』づくりと自衛隊募集一狙われる学校とこどもたち」、「いつも、いつまでいきいき暮らすために〜心と体のいたわり方〜」の2つの基礎講座と、「特別支援教育は今…」「しゃべり場『一人で悩まないで〜ぐちも磨けば要求に一』」「ジェンダーの視点で学校を」「どの子ども大切にしたい学級・学校づくり」「ママパパの会全国交流会」の5つの分科会に分かれて、300人を超えるみなさんが参加し、学習と交流を深めました。

～彦根城散策・米原機関車防空壕見学 コース～



ボランティアガイドの方にわかりやすく彦根城のスポットを案内してもらいました。



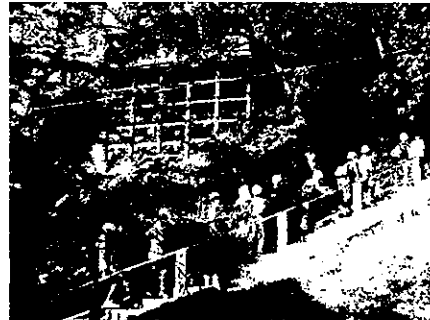
400年以上もの歴史を感じていただいたひとときでした。玄宮園の美しさに大絶賛！



米原機関車防空壕までのバスの中では、昨年の平和ツアーで学習したことを紹介しました。



人のためではなく機関車のために掘られた防空壕。戦争のおろかさを感じられました。



「歴史」「戦争」の二つの方向から滋賀を知っていただくことができました。

～近江商人発祥の地 近江八幡とスイーツ探訪 コース～

三連休中日、最高の行楽日和に恵まれ、参加者41名、スタッフ4名で大会後、近江八幡に向かいました。車中、近江八幡市教組委員長の北川健次先生が手作りのガイドブック「行ってみたいな！！おうみはちまん」をもとに地元の人しか知らない隠れスポットも紹介しながら右手に琵琶湖を眺めつつ湖周道路を走るバスの旅を楽しみました。

新町浜で記念撮影をした後、前日に効率よく散策してもらえるように資料をお配りしておいたので、皆さん自分のお目当ての場所へそれぞれ足を運ばれました。八幡山のロープウェイ、日牟礼八幡宮、クラブハリエ、たねや、白雲館、町並み保存地区、ボーダレスアートミュージアムNO-MA、酒遊館などを巡られ、クラブハリエの紙袋を持ってバスに戻ってこられました。夜6時から、幻想的な灯りがともる『八幡堀まつり』が開催されるので、もう一度夜に出かけてきますと、おっしゃる方もおられ、皆さん半日の旅に満足され大きな拍手のお礼をいただき、おもてなしをさせていただいた私たち近江八幡市教組のメンバーもホッとしました。



女性部員の皆様へ（お礼）

10月7日、8日の全国女性学習交流集会には、たくさんの方々のご参加、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

全体で438名、滋賀では160名の参加で集会を成功させることができました。

この大会の取り組みを通じて感じたことは一人ひとりの力の積み重ねのすばらしさです。実をいうと、滋賀で公式には100人、裏では150人の参加を目指そうと実行委員会では話していたのですが、8月中の参加確認の数が全国でも滋賀でも思ったより少なく、どうなるかと思っていたのです。でも、9月にはいつから、多くの方が自らの参加のほか、組合員以外の方や男性の方にも参加を呼びかけてくださり、その積み重ねがこのように参加目標を上回る人数となりました。一口に160人と言いますが、参加者名簿をみてみると、それぞれの職場等での皆さんの姿が目につかび、一人ひとりの人の力ってすごいんだなと今更ながら感動してしまいます。

わたしは小学校2年の担任をしています。国語科でレオ・レオニの「スイミー」を学習しました。スイミーは教えます。「はなればなれにならないこと。みんながもちばを守ること」。まさにこのことが今回の集会で実感できました。

当日は、降っていた雨も念力のおかげですっかり上がり、たくさんの方々をお迎えすることができました。

中学生の太鼓や高校生のクッキー販売など、輝く滋賀の子供たちの姿も、全国の皆さんに知ってもらえたと思います。富田人形を通じて、地域の力、文化を伝えていく事の大切さも感じました。また、女性部みんなが歌った琵琶湖周航の歌の美しさ、手前味噌ですが収録して下さったCDを聞いた時、プロの歌だと勘違いしてしまいました。翌日には私たちも驚くほどの快晴で琵琶湖の眺めも驚くほど美しく、自分が思っていたより、滋賀って良いところなんだなと故郷の良さを再発見することができました。

そしてなにより、ひとりひとりの子ども心に寄り添って考えていくことの大切さを全国のみなさんとともに考え、再確認することができたこと。

全国の仲間と出会い、組合の力や大きさを感じ、励まされた方も多かったのではないかと思います。全国との交流の中で、いろいろな経験を学び、力にしていった方もいらっしゃいます。

このような経験ができたのも、女性部の皆さんの力、そしてそれを支えてくださった親組合、全滋賀教組の皆さん、本部の皆さんのご協力のおかげです。要員等にもたくさんお力添えをいただきました。ほんとうにありがとうございました。本集会に関わってくださったすべてのみなさんに心より御礼申し上げます。

全滋賀教組 女性部長 麻生 きよみ